文書分類番号	00	09	03	002	永年	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日	
議長	副議長	局長	次長	長	副主幹	担当	文書取扱主任									

第 6 回 経 済 建 設 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日	平成23年11月10日(木曜日)	開会 13時29分	閉会 15時21分
開催場所	第三委員会室		
出席委員	山口、山本、小野、三上、窪之内	事務局	中嶋事務局長
	副議長、委員外～清水、木下、関藤、荒木		菊井次長
欠席委員	坂井		原田主事
説明員	別紙のとおり	議 件	別紙のとおり
議 事 の 概 要	1. 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、すべて報告済みとした。		
	(1) 総合交流ターミナルたきかわ(道の駅たきかわ) レストラン部門の公募について		
	(2) 滝川駅前再開発ビルの状況報告について		
	2. その他について		
	事務局よりスマイルビルの税滞納に係る情報開示の依頼文書を経済部経由でビル側に依頼した件を報告した。		
	3. 次回委員会の開催について		
	正副委員長に一任することとした。		
上記記載のとおり相違ない。 経済建設常任委員長 山口清悦 ㊦			

平成23年11月8日

滝川市議会議長 水 口 典 一 様

滝川市長 前 田 康 吉

経済建設常任委員会への説明員の出席について

平成23年11月7日付け滝議第123号で通知のありました経済建設常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしく申し上げます。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしく申し上げます。

記

滝川市長の委任を受けた者

副市長	吉 井 裕 視
経済部長	五十嵐 千夏雄
経済部参事	千 田 史 朗
経済部商工観光課駅周辺整備室副主幹	加 地 幸 治
経済部商工観光課駅周辺整備室主任主事	後 呂 典 輝
農政部長	若 山 重 樹
農政部次長	中 島 隆 宏
農政部参事	多 田 幸 秀
農政部農政課副主幹	阪 本 康 雅
農政部農政課主任主事	山 本 健 裕

(総務部総務課総務グループ)

第6回 経済建設常任委員会

H23.11.10(木)13:30～
第三委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

1. 所管からの報告事項について

《農政部》

(1) 総合交流ターミナルたきかわ（道の駅たきかわ）レストラン部門の公募について
(資料) 農 政 課

《経済部》

(2) 滝川駅前再開発ビルの状況報告について
(資料) 駅周辺整備室

2. その他について

3. 次回委員会の日程について

○ 閉 会

第6回 経済建設常任委員会

H23. 11. 10(木) 13:30

第三委員会室

開 会 13:29

委員動静報告

委員長

欠席～坂井。副議長出席。委員外～清水、木下、関藤、荒木。建設新聞、プレス空知、北海道新聞、毎日新聞、滝川市広報広聴室の傍聴を許可する。なお、あらかじめ申し上げるが、本日議長が総務文教常任委員会の行政視察のため欠席しているが、かわりに副議長に出席していただいている。この件に関して前回の議会運営委員会でも委員会の出席等についての話し合いがあったが、副議長の出席については地方自治法第105条に規定されている議長の委員会への出席の規定で議長に事故があるときに該当するので、議長の職務を代理する副議長ということで委員会への出席並びに発言についても、議長と同様に扱われることを承知おきいただきたい。

委員長

1. 所管からの報告事項について

(1) について説明願う。

(1) 総合交流ターミナルたきかわ（道の駅たきかわ）レストラン部門の公募について

山本主任主事

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わった。質疑はあるか。

窪之内

① 9月1日付で申し出をして10月末をもって撤退という形で、当初取り決めていた契約から見て何も不都合なことはなかったのか。2年間という契約の中で、例えば途中の場合は違約金などが発生することがなかったのか伺う。また、こういう申し出に対して例えば緊急だということで年末までの営業を促すということはないのか伺う。

② 公募の条件として基本条件が出されているが、これまでの条件と違う条件を出された点はどういうところになるのか。一点目と言えば市内で生産された農畜産物を使用することが原則というのは今までの楽楽食品から見たらこの原則には沿っていなかったのではないかと思うので、今までの条件と違う点はどこなのか伺う。

③ 基本条件の中には示されていないが個人の農産物の販売をやっている組合の売り上げに対するパーセントと管理組合に出すパーセントと、ここのレストラン部門のパーセントは違うと思うが、その辺は基本条件には載っていないがどのようにしているのか伺う。

④ 第2次公募期間に仮に応募がなかった場合に組合としてはどういったことを考えているのか。いろいろな人から入りづらいと言われていることもあり、外から入れる玄関をつくるなどの改築等も考えているのかについて伺う。

⑤ 楽楽食品がいなくなったということで、ポップコーンなどいろいろな部門が撤退している。いすが置かれているスペースにはなっているがトイレ以外の場所を使える時間帯は5時までになったのかと思う。この間使っていたらもう閉める時間と言われて驚いた。時間をどんなふうにするかと設定をして、その理由はどのようなことなのか報告を受けているか。そこが撤退することで管理組合としてこれからはこの場は何時までしか使えないというような周知は行

阪本副主幹

ったのか伺う。

① 9月1日に申し出があり10月31日までに撤退したということについては、事前に管理組合のほうと打ち合わせをさせていただいた中でこういう条件を出させていただいた。契約内容には細かなことは書かれていなかったの、楽楽食品から管理組合のほうにこういう形で出るということで承諾の上10月31日に出たということで聞いている。

② 条件の関係については前回平成12年4月に実施しており、その中で違う分についてはレストランで取り扱う品目の食材については徹底されていなかった。せっかく隣にいろいろな農産物があるのでその利用促進を図るということで、市内で生産された農産物を使用することで今回出させてもらっている。これについても道の駅管理組合と相談した中で、隣に農産物があるのでしっかりと地産地消を含めてやりたいということでこういう要件を出させてもらった。ほかについてはほとんど変わっていない。

③ 管理組合のパーセント提示の関係であるが、レストラン部分については売り上げの10%である。農産物については20%ということで考えている。レストラン部分については、光熱水費はある程度自分のところで払っていただくということになり、共益費ということでトイレや表の駐車場の除雪などを含めて売り上げの10%を考えている。

④ 入口が入りづらいということを管理組合は認識している。今回食堂が決まった暁には補助の関係もあるが、入口を北側につけたいという話を聞いているところである。今奥にあるのでわかりづらいという面もあるということも管理組合のほうも認識しているところなので、そのあたりの細かい中身については調整させていただいているところである。応募がなかった場合については継続して募集していきたいということで打ち合わせさせていただいている。半年たって来年3月になっても応募がない場合については全体の利用方法を踏まえた中で検討させていただきたいと思っているし、国の補助金をいただいているので補助要件に合致した使い道を模索していきたいと思っているところである。

⑤ 店の開館時間について江部乙の方がもっと使いやすいように北側のほうに入口をつけていきたいと思っているし、楽楽食品がいなくなり、ポップコーンなどがなくなったところについてはその利用についても投資の関係もあり今すぐ対応はできないところもあるが、有効利用を道の駅と相談しながら進めていきたい。

委員長
阪本副主幹

年末までの営業の依頼はしたのかという質疑に対する答弁がない。

申し出がありこういう時期ということもあったが、一応利用については年末というか10月31日までやってほしいということでお願いしたところだが、年末までのお願いをしたとは聞いている。双方合意した中で10月末ということで今回こういう形で撤退したと聞いている。

窪之内

① 撤退した大きな理由に売り上げの減少ということがあるが、どういうふうに変化したのか。1つは高速道路の無料化ということが大きかったと思うが、無料化がなくなったので回復してきたということはあるけれども、その売り上げの減少はどのような形なのかその原因についてどのように把握しているのか伺う。

② 来年3月末まで応募がなかった場合についてはその利用の仕方を考えるということなので、それはそれでいいかと思うが、心配しているのはどんやが

出店を決めていてオープン当初はカツどんか何かを250円くらいで提供するというのでリーズナブルな値段でどんぶり物や麺類を提供するだろうと考えたときに、そのレストラン部門と競合していくのではなく相乗効果を上げるというふうに見込んでいるのか。その辺を管理組合としてどんなふう考えているのかがわからない。あそこができるから要らないということで進んではいけないと思うが、同じようなものということになるとどうなのかということがある。この基本条件もそこのお店ができたということになると応募者が少なくなるのではないかとということも危惧するがどのように考えているのか。

③ 決まった場合に北側に入口をつけるということだが、それは組合として経費の負担をしてつけるということなのか、市からの補助金などを当てにしているのか。

④ 先ほども言ったが5時で閉めるということは聞いているのか。今までは食堂がやっているから8時くらいまであいていたと思うし人もいたと思うが、もう管理組合の人も帰ってしまう。それであれば管理組合の人件費なども今までと違った形になるのかと思う。かなりのお金をかけてつくった市の施設をもっと有効に活用してもらおうという点から、もっと市としてかかわっていったほうがいいのではないかという思いがある。5時で閉めるということも含めてそういう報告ももらっているのかどうかについて改めて伺う。

阪本副主幹

① 減少したということだが、会社の関係もあり教えられない部分もあるが、毎年100万円、200万円落ちてきているという状況である。去年高速道路の無料化の関係があり、やはりそれは大きかったということも考えているが、高速道路が無料化廃止になった段階でも、利用状況はもとに戻っていないというのが現状ということで理解していただきたい。細かい数字は手元にないのでそういう状況ということで理解いただければと思う。

② どんやの関係であるが、どんやのほうについては指定管理の施設ではなく道の駅に賃貸している施設であり、道の駅が独自にお願いしてやられているという話を聞いている。今回のレストランについてはどん屋のようなファストフード的なものではなくしっかりしたレストラン運営をしていただきたいという考えを持っているし、江部乙地区はレストランや夜の会食をする場所もないということで、そういうことも想定した中でレストランを決めていきたいということで打ち合わせをさせていただいている。

③ 入口の件は道の駅管理組合でやるということでも話を聞いているが、これについても負担割合も含めてどれだけお金がかかるかまだはっきりしていないので、状況に応じて協議をした中でまた報告させていただきたい。

④ 時間の問題について口頭では少し話を聞いているが、その部分については内部でも調整しなければならないということではっきり5時にするということはまだ承諾していないところであり、やるのであれば正式な文書をいただきたいということで話をしているので、その経過についてはまた改めて決まったら報告させていただきたい。

窪之内

先ほども言ったが、例えば地元の農産物出店者は20%、レストランは共益費で10%ということであるがいろいろなうわさ的なものがある。うわさほうわさだからここでどうこうということではないが、そこを一つの農産物の直売所の拠点施設として考えているわけなので、そういう点で管理組合ともう少し詰めて、もっと一つの拠点として栄えるような指導助言を強めてほしいと思う。そこと

若山部長

の関係で江部乙商工会と管理組合がこのレストランの出店も含めて何か共同で出店者のことなどを考えたりしているということはあるのか伺う。

パーセンテージの関係は今さわるつもりはない。担当者も含めてこの関係で向こうともやりとりを十分にした中でこういうような事態となった。私個人ではあるが楽楽食品は企業誘致を二十数年前にやったときの第1号の企業であり、社長と話したこともゼロではない。前からこういうことはちらちら言っていた。それを延ばしてもらっていたということも事実である。ただやはり売上げの減少と卸し部分の強化という形で最終的にこういうふうになってしまったというのは大変残念なことではあるが、これからも委員の言われるとおり道の駅を江部乙の中心というか、人が集まる場所であり、滝川の直売所の一つとしても大変人がいるということで継続なり維持という観点でもやっていきたいと思っている。また、江部乙商工会云々ということであるが、多分直接ではないと思うが道の駅の管理組合の組合長は商工会の理事、役員であるし、商工会に属するようにという依頼はきちんとされていると思っている。

委員長
三上

他に質疑はあるか。

① 多分卸製造業の強化ということよりも売上げの減少で嫌気が差したのではないかという気がする。農政部として例えば道の駅の入り込み客数と売上げの前年対比などの推移は調べていたのかということを確認したい。

② 公募に当たって基本条件が何件かあるが、その中の市内に居住する個人というところだが、これがあると意外と足かせになって出店、公募に応ずるところが限られてくると思う。深川の道の駅みたいにあのような形で昼どきだと待っていてもなかなか入れないというような、集客力のある業者に入ってもらいたいということに今後切りかえていかないといけないと思う。その辺はどのように考えているのか伺う。

若山部長

① 社長と話したときは、会社全体の売上げの減少の話はしていた。その中で店舗を持つことによって黒字で運営できるのならいいがその部分で無理があるということは話していた。売上げの減少はあくまでもそのレストラン部門だけではなく、会社全体として結構厳しい面を迎えているという状況もゼロではなかったということがあった。

② 第1次的にはこういうところから募集をしていきかけたということで聞いている。これが本当に足かせということになっていくのであれば条件緩和という形で次の募集を考えていかなければならない。あくまでもどの条件を緩和することによって集まるのかという部分を協議しながら進めていきたいと思っている。深川のようにお米や釜めしという特色あるレストランに入っていたくことが本当は望みであるが、そこで飲食できるきちんとしたレストランにまず一番目に入っていたければと引き続き募集をかけていきたいと思っている。

阪本副主幹

① 入り込みの関係であるが、毎月利用者数については道の駅から来ている。資料をすべて持ってきていないので数字はこの場ですぐに言えないが、手元にある資料でいくと7月の資料になるが平成22年度から23年度の入場者は高速道路が有料化になり利用が上がっているが、平成21年度より23年度は下がっているという状況がある。詳しい数字については後ほど報告をさせていただきます。

委員長

他に質疑はあるか。(なし) (1)については報告済みとする。ここで所管の入れかえのため休憩する。

休 憩 13:59

再 開 14:05

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。三上委員。
三 上 議案に入る前にお願いがある。経済部の常任委員会を開催してほしい旨を委員長、副委員長に話しをするのはわかるがここ最近短期で急遽入る。これはどういふことか説明してほしい。我々は議員ではあるが予定を立てるわけである。その中で委員会がぼんと入って来るというのが今の状況である。せめて1週間くらいの余裕があるといいがいかがか。

休 憩 14:06

再 開 14:09

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。(2)について説明願う。

(2) 滝川駅前再開発ビルの状況報告について

副市長 私のほうから報告、説明、おわびということで出席させていただいた。冒頭であるが、昨日の新聞報道の関係について報告とおわびをさせていただきたい。経過については、おとといの夜報道関係の方から、スマイルビルの無償譲渡の関係について携帯電話に夜7時ころ電話をいただいた。その関係の取材だったわけだが、きょう経済建設常任委員会があるのでその場できちんと説明すると何度も報道関係の方に話をさせていただいたけれども、資料も入手されていた状況だったので翌日には掲載をするという話だった。そんな中で私のコメント等も含めきのうの朝刊に掲載をされたということである。本日の委員会の前に私のコメントというものが公になるということは議会の皆さんから何をやっているのかとお叱りをいただくのはもっともだと思し、全く自分の対応のまずさであったというふうに心から反省している。おわび申し上げる。大変申しわけありませんでした。あわせて、きのうの新聞報道の関係について2点確認させていただきたい。1点目は無償譲渡の条件はこれからきちんと説明させていただくが、その関係の5点が報道されたがこれについては滝川市のほうから新聞社の皆さん、マスコミの皆さんにこの関係の情報というものは一切出していないことである。2点目は、したがってビルに対しての条件提示についてもまだ行っていないことである。本日の委員会終了後、委員の了解をいただいた後文書を渡すことになっている。なお、新聞報道の中では滝川市引き受けという大きな見出しが出て、その横に小さく一本化等が条件と書いていたが、見る人が見ると驚かれたと思うが引き受けるかどうかについてはこれから滝川市が駅ビルのほうに条件を出させていただいて、駅ビルのほうから回答が寄せられるということを経査して議会、市民の皆さんの意見を聞いた後でこの無償譲渡を受ける、受けないというのは判断して、最終的に方向性を出すという流れになるということである。このことをまず私のほうから確認、報告させていただく。なお、無償譲渡の条件設定については本日これから資料に基づいて正式にきちんと説明させていただく。きょう報道の皆さんもおられるがどうかよろしく理解願う。

委員長 今副市長から説明があったが、議会としても情報の管理はきちんとするようにお願いを申し上げます。副市長はほかの会議のため退席する。窪之内委員。

窪之内 その前に一点質疑する。新聞報道では10日の経済建設常任委員会で引き受け方針を報告後というふうに報道されているが、これからの報告はそういうことではないということで確認してよろしいか。

副市長 引き受け方針を報告後と記載されているが、引き受ける場合の条件の報告、かみ砕いて言えばこちらの意図と報道の意図が、意図はわかっていたのかもしれないが、そういう書き方になったのかと思う。委員の理解でよい。

委員長 他に質疑はあるか。

副議長 副市長がいる間に確認しておきたい。議員の皆さんもそうだが、こういう場合10日に委員会があるという以前にこのような記事が出るというのは完全な議会軽視である。これは情報いかによらずマスコミの方も協力を願いたいと思うが、やはり先に得てさっさと出すというのは非常に市民に誤解を与える。実はこの新聞を見て私のところにも数本電話があった。それと同時にそのビルにかかわっている方からも連絡があった。これはやはりよっぽど慎重に考える必要がある。この議会軽視の問題とこのビルの問題というのは最大の市民の関心事である。間違えば命取りになるというような重大案件だということをしっかり気を引き締めて今後対応していきたいと思うので要望する。

委員長 他に質疑はあるか。(なし) 副市長はここで退席する。それでは説明に移る。

千田参事 今ほとんど副市長のほうから説明させていただいたが、本年8月30日駅前再開発ビル株式会社から無償譲渡の検討の要請が出された以降、市としては要請内容の精査をするとともに要請者に同意を取り、駅前再開発ビルの権利関係、経営状況、テナント契約状況など調査を実施してきた。その内容について外部委員で構成されているビジョン策定検討会議で検討し、副市長をトップとする市内プロジェクトでの検討、顧問弁護士との協議により無償譲渡の可否を判断するには最低限要請者側として整理すべき問題点や事項があるのではないかという検討結果を踏まえて、本日経済建設常任委員会に報告させていただいた上で駅前再開発ビル株式会社に正式に提示させていただきたい。滝川市としては本日報告させていただいた条件について、きょう報道関係者も来ているが市民に明らかにした上で今後滝川駅前再開発ビル株式会社はその条件の整理、確約がされた際には市民の意見を伺う説明会などを開催して最終的に判断していきたいと考えている。詳しい内容については副主幹のほうから説明させていただく。

加地副主幹 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わった。質疑はあるか。

副議長 条件内容はこのとおりだと思う。今言われたこの条件内容と昨日の新聞に載った中身と比べると相当な違いがある。例えば読んでみると、市は引き受け後もビルの営業は当面継続する予定であると現テナントの契約の一時解約、テナントの一時契約解除については無償引き受け後の再契約手続をスムーズにするためという報道がなされている。これは市民が見て私のところに連絡をくれたがどうなっているのかという一言に尽きる。3時の記者会見においてはこの条件をしっかり提示をして、①から⑤までの条件内容のすべてがクリアされないと無償譲渡は受けない、というくらいの気持ちでいかないとビルのテナントは再契約をすると、市民感情からいくと非常に間違っただけで伝わっているということである。しっかりこの5項目がクリアされないと無償譲渡は受けられないというところまで突っ込んでいただきたいがいかがか。

加地副主幹 本日会議終了後、記者会見という形で今説明させていただいた部分について改めて記者の方に発表するという手はずになっている。今副議長から話があった条件と要請のところについては、ある意味交渉事の話の部分もある。私どもとしてはこのすべての部分がクリアされなければ土俵には上がれないということ

について明確にしていきたいと考えている。

委員 長
副委員長
他に質疑はあるか。

千田参事
昨日別な町に行っていたのだが、新聞を読まないで行っていたが会った方 10人中9人くらいが決まったのだという言い方をしていた。副議長が言ったように、間違った情報が市役所の中で発信されているのかという気がしてならない。議会軽視という部分も言われたが、余りもめると最悪の場合議会で否決という場合も出てくるかと思うが、この部分について5つの条件が整わない中で進んだとき、議会で否決になった場合には市はどういう対応をするのか伺う。

委員 長
副 議 長
この5つの条件がそろって否決されるという話であるが、私どもとしては地区の重要性からして廃墟ということを前提に仕事をしていない。議会で否決されたらという話だが、行政がその地区の重要性を訴えてそれがどうしても受け入れられない、議会で否決された、市民の皆さんに反対されてという形で私どもの思いが通じないということであれば、それはそのときに検討はするが今そういう想定はしていない。

千田参事
そのような答弁でいいのかという聞き方をした。加地副主幹が言ったことと千田参事が言っていることは違う。経済部自体で統一されていないのか、あるいは庁内プロジェクト会議、活性化ビジョン策定検討会議あるいは弁護士とこの5項目について協議されたのか。協議されたとしたら、これがクリアされなかったらそれは受けられない。今廃墟になる、ならないの問題ではないのではないのかと思うがいかがか。

千田参事
私も当然この5項目の条件がクリアされているという前提で話をさせていただいている。5項目がクリアされて私どもとしてはその地区を何とかしていきたい。5項目が整理されないと私どもは土俵に上がらないという前提でお話しさせていただいている。

副 議 長
それでは副委員長が言ったこととは違う。副委員長は5項目が満たされないで否決した場合はどうなるかと聞いている。

千田参事
この条件については基本的には努力して相手様にやっていただくしかない。交渉事なので、すべてこの条件について満たしていただこうと私どもは思っている。この姿勢を引くつもりはない。最終的には相手が交渉の中で努力してもできないという部分が出てきたという場合には言うてくると思うが、今の状況では引くつもりはない。

委員 長
副委員長
他に質疑はあるか。

私が言っている意味は相手方に 100%のこの5つの条件をのんでいただいて首尾よく無償譲渡を受けられるというのならよいが、この中で少しでも残った中で廃墟にはできないということで無理矢理引き受けたときに、私ども議会としては提示していただいた5つの条件が 100%なら可決の方向に行くのかもしれないが、もしかしたら否決の方向になってしまう恐れもないとは言えない。今千田参事が言った廃墟にはできないという言葉じりが市はもらう方向へというふうに聞き取られたのではないかと私は思う。発言を訂正された部分はあると思うがやはり言葉遣いには十分気をつけたほうが良いと思う。今後そのような対応を部長も含めて、内部徹底をお願いできるのか。情報があいまいな形で外に出て来過ぎるのではないかとと思うがその辺の管理はきちんとされているのか伺う。

五十嵐部長

昨日の新聞報道も含め情報の管理という指摘を受けたが、我々も議会軽視のないように対応しているつもりであるが、たまたま報道機関の自主取材というものもある中でまるきりお答えしないというわけではなく決まったことはお話しする。今回の件は取材元については私どもも図りかねているところであるが、今後についてはこのようなことがないように行政内部の情報管理を徹底したいと思っている。

委員長
窪之内

他に質疑はあるか。

① こういう場合に何を条件とするのかということをおもちゃんと勉強していないのでよくわからないのだが、このほかに考えられる条件はないのか。プロジェクトチームでもこれはどうかという話が出たと思うが、そういう中でここには載せなかったが何か考えられる条件というのがなかったのか伺う。

② (3) で市税の納付状況や滞納に至った経緯経過等について市民等への開示に努めるとともにという言葉が前段に載っている。議会としては先日議会運営委員会で、議長名で市税のことについての情報を駅前再開発ビル側に求めるということにはなったが、前段にこのことが書かれてはいるが開示に努めるとともにと書いてあるだけで中の条件項目には一切このことは触れられていない。この前段に掲げた思いというのはどこにあるのか伺う。

③ 8月30日から市と議会への無償譲渡のお願いとこのことについての議会の議論を求めた後、駅前再開発ビル側としてどのような行動を行ってきているのかというのは今まで報告されたことがない。例えばここに示された条件をみずからクリアしようとしているいろいろな形で動いているというようなことをつかんでいるのか。再開発ビル側が文書を出したというだけには終わらないはずで、みずからが何らかの動きをしていなくてはならないはずなので、その動きをどのようにつかんでいるのか伺う。

加地副主幹

① 土俵に上がるために最低限の部分というとらえ方を私どもはしている。議論の中に細かな部分からいけば、受けた際には引き継ぎ事務をしっかりとするようにという細かな条件であるとか、この2つ目のリードの部分に書いてある情報であるとか、こういった部分もどうかという議論も中にはあった。その上で私どもとしてはこの5つということで財務規則上の規定の部分、そのほか私どもとして考えられるところで入れている部分がある。最低限①、②、③については活性化ビジョン策定検討会議等の議論の中では完全でなければ当然無理な話だということはある。④についてはある意味ここまでできるかどうかという部分は議論の中にもあった。⑤についても裁判所関与という部分になるので税法上の規定、裁判所関与の債権債務の整理の状況の中での状況、こういった部分から言ったときにそこがどのように動いていくかというのは完全なものになるかどうかということも当然あると思われる。そういう状況の中での条件という議論があったということで理解いただきたい。

② 9月議会で相手様のほうに要請をしていきたいということで、これまでビル側に要請はしてきている。この要請書の文面云々ということではないが、口頭で交渉の中で何とか開示していただけないかと要請してきている経過がある。できれば相手様としての公表に応じていただきたい。どうしても市の部分ということで、市役所に入って来る情報ということでの開示となるとやはり情報公開等、守秘義務等、法人の秘密等の部分も出てくるので、会社側としての公表ということに努めていただきたいとあえてこちらに入れさせていただ

ている。それには議会のほうから要請をいただいているというところについてもしっかりとした対応を図っていただきたいという思いも私どもとして入れている。

窪之内

③ 役員会などが開催されているということもお聞きする中でどのような話であったのかということをおもが訪問し、折衝する中で、今所有権の一本化についての作業を主に続けられているという状況を確認している。そのような状況の中でビルから出された要請書に記載されていた内容を相手様としてはなるべく早い時期に整うような形での動きをしている。

① こうした条件を提示して、今再開発ビルとしても条件に沿うような動きをしているようだということはわかったが、条件整備の期限等については特に求めないのかと思うが、その辺の期限等についてはどのように考えているのか。議会で12月判断ということもあったのでそういった期限も提示すると、例えばできるものもできなくなるという可能性がないとも言えないので、期限のめどとか12月判断というめどそのものについても考え直さなくてはならないという思いもあるのか伺う。

② 答弁の中で①から③については完全でなくてはならない条件で、④と⑤についてはここまでできるのかといういろいろな厳しい中身も含んでいるということだが、先ほど千田参事のほうからも交渉という話も出てきたが、④と⑤について今はここをクリアしなければならないというところは断固外さないということであるが、ただ④と⑤については交渉の中では下げてもいいという含みがあるのかというふうにとめた。そのようにするとまた報道で出てくるという可能性があるのもその辺について考え方なり現在の対応なりをはっきりしておくべきだと思うがいかがか。

加地副主幹

① 条件整備の期限ということで本日手渡ししてそのときにいつまでやってくださいというような形で設定するかしないかということだと思うが、私どもとして9月議会のときに年内に判断していきたいということで答弁させていただいている経過がある。しかしながらこういった条件を提示したときに年内の判断といっても相手様に対しての条件を提示した中でその条件が整うかどうか、それを見きわめる必要があるというふうには判断をしている。その中であえて言わせてもらえば焦る必要性はないのではないかと思う。相手様の状況として会社側の経営状況から言ってキャッシュフロー的に回らないということでは閉鎖云々ということも当然起こる可能性もあるかもしれない。しかしながら相手として要請をしてきている内容に対して滝川市としてこういった条件が整わなければならないということで打つ話であるので、その部分について整った上で私どもとしては判断していかないといけないという腹づもりでの内容になる。それからいけば9月議会で答弁した時期にならない可能性も出てくるのではないかとということもあるかもしれない。しかしながら、相手様も年内にという話の中での要請であったということで、私どもとしては8月31日に要請を受けている。それからいけば相手様としてどのような行動に出てくるのかという部分では私どもとして見きわめていきたいという状況である。

② 先ほど答弁した中で触れさせていただいたが、検討の中ではそういうようなニュアンス等があったということでの意味である。あくまでも既に今まで質疑を受けているが、条件については完全なものでのクリアを大前提として相手様に条件を提示していくという中身である。

- 窪之内 (2) ②の中で条件について、要請者側として整理及び確約された際には、説明会等により市民意見を伺う中で最終判断をしていきたいということを考えたときに、説明会をどういった形で行おうとしているのかがよくわからない。説明会をしないと年内の判断はしないということなのでそういうことを言ったら1カ月半しかない。そのような中で年内判断も時期がずれる可能性もあるという話もあったので市民説明会のあり方について規模などについてどのように考えているのか伺う。
- 加地副主幹 具体的にいつやるということは当然今のところ明示することはできない。イメージとしては、岩見沢市のポルタビルのときには3日間連続で説明会を開催したという話を聞いている。その中にはビル側からも出席をして市民への対応を図ったという情報を得ている。私どものイメージとして地区に分けて行うことがいいのか、それとも今問題となっているスマイルビルの中で行う形がいいのかは今後の状況を見て判断させていただきたい。
- 窪之内 市民意見を伺う中でということなのでもちろんこの中には議会のいろんな質疑の判断の材料になるのかと思うが、岩見沢の場合は3日間連続でということだったが滝川の場合はどうかといったときに市民意見を伺うということになるいろいろなことが想定される。例えば駅前をどうするかと市民アンケートをとったということもこれまであるのでそういった抽出で意見、賛否を問うということも考えられると思うが、それは出た中で改めて市民意見の問い方については考えていくということで理解していいのか伺う。
- 加地副主幹 説明会だけで市民意見がとれるかというようなことだと思う。いろいろな考え方があってと思うし、私どもとして今まで何も数字的なものを出さずに駅前地区としてどうなのか、あのビルとしてどうなのかということで市民意見をとって、アンケートを実施した経過がある。あとは時間的な部分と先ほども答弁したが焦らずに決定をしていきたいということからいけば、アンケートも一つの手法かもしれない。今活性化ビジョンを策定している中でホームページのほうに法人情報に当たらない部分、議論形成過程において左右するようなもの以外を除いて公表する中で意見等をいただきたいということで情報を得たいという思いの中で進めているところはあるが、こちらとしてはまずは条件が整うということが一歩目ということになるので、そこがあった上でどうしていくかという部分についてはこれからビジョンが出てきた中に、どういうふうに周知していくかということも私どもの課題でもあるので、それとあわせて中で検討していきたいと考えている。
- 委員長 他に質疑はあるか。
- 三上 きょう報道の方もいっぱい来ているのでしっかり5つの条件が満たされない場合は無償譲渡を受けない姿勢というふうに書いてほしいと思う。3番目のテナントとの賃貸借の契約という最後の部分で契約に附帯する敷金返還債務をすべて消滅させるという部分が難しいのかと私なりに考えている。万が一ここがクリアできない場合に市として公金を肩がわりする形がないということをここで確約してほしいと思う。そのための補正を組むことは一切ないということを確認したい。
- 加地副主幹 条件5つが整わなければ受けない姿勢という表現があったがその5つが整ったときに受ける、受けないということを判断する。議論の裏返しになるかもしれないが、今の状況では受けられないということである。私どもとして調査をし

てきたがこういう条件が整わなければ受ける、受けないにしても受けられるものには至っていないということで理解していただきたい。敷金云々という話がある。これは議決事件の中に負担つき寄附という部分がある。寄附者の条件としてそういった部分がついても滝川市としてこの条件を提示して、敷金が残ってしまった、それについてでも滝川市は受けるという判断になれば議決事件という形になる可能性はある。条件の部分は完全なものにしていきたいと考えているのでその想定というものは今のところはないということで表現をさせていただいたほうが適切かと思うので先ほどの負担つき寄附については削除願いたい。

委員長
副議長

他に質疑はあるか。

この5つの条件で今3番目のことを言っているがここに書いている5つの条件がクリアされないと受ける状態にないのだからここまで整理されてからの話である。それを想像で話していくからだめなのである。ついでなのでもう一つ言っておくと、今回の報道事件、委員会無視、議会無視は非常に重いことであるし、先ほど副市長がいたときにも言ったが報道機関に対してもこういうことは記者会見においても、各部署においても、経済建設常任委員会だけでなく総務文教常任委員会においても、いろいろな常任委員会でもこれからしっかり守ってほしい。

委員長
三上

他に質疑はあるか。

5つの条件がクリアされるということが大前提であるのはわかる。その大前提をなぜ心配するのかということ、一部には敷金まで使ってしまったという話もある。これは正確かどうかわからない。③をクリアするために公金を投入することはないか確認したい。

加地副主幹

委員の言いたいことはわかるが、私どもとしての考え方としてはこの条件がクリアということが大前提ということに変わりはない。その中でもし、所有権を移すと、所有権に敷金に係る返還債務というものが勝手についてくる。借地借家法の中での取り決めによって原資があろうがなかろうが、相手様としてそういった話があるのかもしれないが、そういった債務はついてくる。そういったときには当然この条件はクリアしていないという議論になろうかと思うので、私どもの答弁としてはこの5つの条件が大前提であるということに尽きるといって答弁させていただく。

委員長
小野

他に質疑はあるか。

私も新聞報道があってから三、四人の方から電話がきて2人から呼び出しを受けた。この条件について受けるということになる中でこの報道の中で一部、市は既に市議に対して個別の説明を行っているということであつたか、全部知っているのではないか、把握しているのではないかということであつた。個人の意見がひとり歩きをしたら困るので、自分が知っている範囲はこういう範囲だと言うが、ただこういうことをやってしまうと市議はすべてわかっているという解釈もあるので、報道の方にもお願いをしたいのだが、既に説明を受けているわけなのでこれも真実で間違っていないけれども、書かれてしまうと我々がこれからやるという話の立場もなくなってしまうので報道の方にも説明するときに訂正的な意見を、今審議している状態だという言葉で載せてほしいかという意見があるので今後ともまたよろしく願いたい。

委員長

他に質疑はあるか。

副議長 新聞には市議に個別の説明を行っていると書いてあるけれども、市議に個別に説明ではなく意見を伺っている。説明と書いているほうが間違っている。これはどうしたらいいかなどのいろいろな意見を聞いて求めたということである。

委員長 いずれにしても理事者側に対する意見ではないので答弁は要らない。他に質疑はあるか。(なし) 委員外議員で質疑を持っている方は挙手を願う。内容を伺う。荒木委員外議員。

荒木委員外議員 (3)の条件内容⑤に関係する趣旨の質問で、要望も入るかもしれない。

委員長 清水委員外議員。

清水委員外議員 条件そのものをふやすべきだということと条件内容②にかかわること、判断の時期についての質疑である。

委員長 委員の皆さんにお諮りする。審査の都合上、2人の委員外議員の方に再質疑を含めて1人2分の質疑の時間を与えたいが異議はないか。

窪之内 判断の時期についての答弁はあり、その答弁では焦らないということも含めてあったのでそこは要らないのではないかと思う。

清水委員外議員 趣旨が違う質疑ということである。

委員長 1人2分の時間を与えるということに決定する。荒木委員外議員。

荒木委員外議員 私たち議員も市民のそれぞれの代表という自負があるので、それで逆に市民感情という立場から、お伺いするというよりも相手方に対して条件提示の際に言っていただきたいと思うのだが、考えを伺う。

千田参事 私も今まで折衝している中でそういう話をさせていただいている。今ここで言われたから改めて言うということではなく、世の中ではそういう話が出ているということは既にお伝えしている。

委員長 他に質疑はあるか。清水委員外議員。

清水委員外議員 ① 5つのほかに6つ目として決算諸表及び帳簿についての提出、公開ではないが市及び市議会に対して提出をするということを今回の条件の中に入れる。理由としては西友が撤退した時点ではかなりの金額が資産として残っていたであろうがいろいろな形に消えたという荒木委員外議員が言われたようなことに関連して、市としてもそういったことを知らないで受けるわけにはいかないと思うがいかがか。

② 債権を再開発ビルにまとめるということの是非であるが、債権者であると同時に債務者でもある。かなりの金額の債務を抱えている。そうすれば市が受け取った後に何億円と言われる費用が発生するわけであるから、滝川市と一緒に負担してもらい可能性のある方々であるので債権債務を1つにまとめるという提案そのものも市民に対して不利益であると思うがいかがか。

③ 期限として国税がかかる可能性があると言われる2月の決算期を越すことはできないのかということについて伺う。

加地副主幹 ① 帳簿までは閲覧はしていない。決算書については求めている経過もある。しかしながら、先ほども申したとおり法人情報にかかわる部分の情報公開と言われてもなかなかその部分を出せないという中で、先日議会側のほうから要請という形の文書を出した。私どもとして今まで交渉窓口としていた経過もることから、相手様のほうに提出してきている経過の中で状況についてもこういう議論があったという部分についても伝えてきてはいる。それも含めた上で滞納に至った経緯経過というものを市民への開示に努めるとともにということを入れさせていただいているところを踏んで、私どもとしてはその部分について

は伝えていきたいと考えている。

② 地権者ということで回答させていただくが、地権者の方がそのまま共有物として物件を持っているといったときに当然権利があるから入っている方々から賃料をもらっている。その賃料について分配がほしいという形になったときに当然テナントは大きく入ってこないといったときにそこはお支払いすることができないということも出てくるかと思う。なおかつビルについて条件が整って滝川市として仮に所有権を持ったといったときに、例えば解体をしていくというときにその方々に対しての補償をどうしていくか。その方が同意をいただけないというときにどうなっていくのかということも危惧している。その上で一本化という部分での相手様の要請については一定程度の妥当性はあるだろうし完全なものにしていただきたいと思う。

③ 国税の問題ということで再開発ビルの決算期が2月であるということで話があったが、2月がまたげないかというところで一部債権の放棄の手続をしている最中のところがあり、その部分について相当な大きな金額であるのでそれが解散決議といったときにそのお互いの取り交わした合意書の中に解除要件として盛り込まれてくる。それが決算上事業外収入のような形で利益という位置づけで計上されてくる。それが今度は国税にかかわる部分での課税対象の金額になってくる。そうしたときに企業側として国税を納めることができるかどうかという判断になるかと思うので、私どもとしてまたぐことができるかできないかと判断するものでもないので、企業側としてどのように扱っていくのかというのは会社側の判断にゆだねられてくる部分だと考えている。

清水委員外議員

地権者の方々が再開発の時点でかなりの金額を借りているということを知っているから、その債務をなくすのではなく今後に生かす方法はないのかということで検討してほしい。

委員長

(2)については報告済みとする。

2. その他について

委員長

議長名での再開発ビルに提出する依頼文書について事務局長から説明がある。

中嶋事務局長

10月4日の議会運営委員会の中で確認した内容であるが、スマイルビルの税滞納にかかる情報開示の依頼文書については11月7日議長名で経済部を経由してビル側に依頼してある。先ほど加地副主幹のほうで説明があったとおりであるがこれにビル側が応じて開示された場合は総務文教常任委員会の正副委員長と相談をして報告時期について決めていきたい。

委員長

この件に関して質疑はあるか。(なし) この件については報告済みとする。

3. 次回委員会の日程について

委員長

正副委員長に一任いただくことでよいか。(よし)以上をもって第6回経済建設常任委員会を閉会する。

閉 会 15:21